

オプション検査の補助について

○対象者

以下の1～4の全てを満たす方が補助の対象となります。

1. 受診日において任意継続被保険者、被扶養者であること。
2. 年度内に健康診査(※1)とオプション検査を同日に受診している。
3. オプション検査補助の対象年齢(下表参照)であること。

検査項目	補助対象年齢
乳がん検査	全年齢
子宮がん検査	20 歳以上
肺がん・胃がん・大腸がん検査	40 歳以上
前立腺がん検査	50 歳以上

2019 年度より、
補助年齢の見直しを実施しております。

※年齢は年度末(3 月 31 日)における年齢と
なります

4. 年度内に当組合の人間ドック補助を申請していない。

オプション検査補助と人間ドック補助は、年度内に1回、どちらかのみを申請できます。

原則、株式会社LSIメディエンスのオプション検査を申込した場合は、ご利用できません。

○対象外

- ・健康診査(※1)を受診せずにオプション検査に該当する各種検査のみを受診された場合、補助の対象外となりますのでご注意ください。
- ・市区町村等が料金を負担し、自己負担が無いオプション検査については、補助の対象外となります。

※1 「健康診査」について

身体計測	身長・体重・腹囲・BMI
血 圧	収縮期血圧(最高)・拡張期血圧(最低)
血中脂質検査	中性脂肪(トリグリセリド 又は TG) HDL-コレステロール・LDL-コレステロール
肝機能検査	GOT (AST)・GPT (ALT)・γ-GTP
血糖検査	空腹時血糖 又は HbA1c (NGSP値)
尿検査	尿糖・尿蛋白

上記の項目が全て含まれている健康診査と同日にオプション検査を受診していることが、オプション検査補助の前提となります。健診項目が1つでも欠けている場合、オプション検査を受診いただいても原則、補助金支給の対象とはなりませんのでご注意ください。なお、特定健康診査には、上記項目が全て含まれております。

(次項に続く)

○対象となるオプション検査項目、補助額について

検査項目		補助対象年齢	補助額
1	乳がん検査	全年齢	全額補助 ※原則、年 1 回(1 検査項目)となります。 ＜腫瘍マーカー検査、乳房超音波検査、マンモグラフィ検査のいずれか 1 検査項目となります。＞
2	子宮がん検査	20 歳以上	検査項目数に関わらず 総額上限 5,000 円 ＜年齢は年度末(3 月 31 日)における年齢となります。＞ ※自己負担額が 5,000 円未満の場合は、 自己負担額が補助額となります。
3	肺がん検査	40 歳以上	
4	胃がん検査		
5	大腸がん検査		
6	前立腺がん検査	50 歳以上	

○補助金申請の流れ(健診予約から支給まで)

1. 受診したい健診機関に電話予約
 必ず健康診査とオプション検査を同日にご予約ください。
 (受診券を利用する場合、その旨も必ずお伝えください。)
2. 健診当日、窓口にて保険証と受診券(特定健診対象者のみ)を提示
 受診券は健診機関にて回収します。
3. 特定健診とオプション検査を受診

4. 結果到着後、下記4点を健保組合へ送付

①健康診査(質問票含む)の結果(コピー)

②オプション検査結果表(コピー)

③オプション検査料金の領収書(原本) ←

領収証は各がん検査の個別の金額がわかるものをお願いいたします。

④必要事項を記入した「オプション検査補助金申請書」

原本(①、②)はお手元で保管いただけますようお願いいたします。

5. 申請書記載の口座に補助金を支給

支払日 月末着締め翌月15日支払

(15日が祝休日の場合、翌営業日の支払となります)

※振込依頼口座名義は申請者氏名(受診者氏名)と同一名義であることをご確認ください。

(次項に続く)

○補助金額 Q&A

- Q1 55歳で子宮がん・肺がん・大腸がんの検査を受診し、自己負担額が6,000円でした。補助額はいくらになりますか？
A1 自己負担額が5,000円以上の場合、補助額は5,000円(上限)となります。
- Q2 43歳で大腸がん検査のみ受診して、自己負担額が864円でした。補助額は5,000円となりますか？
A2 自己負担額が5,000円未満の場合は自己負担額が上限ですので、補助額は864円となります。
- Q3 オプション検査を受診しましたが、全て市区町村負担でした。補助の申請はできますか？
A3 自己負担が発生しない場合、補助対象外となります。
- Q4 50歳で乳がん検査(6,000円)と肺がん検査(3,000円)を自己負担で受診しました。補助額はいくらになりますか？
A4 乳がん検査6,000円(全額補助)＋肺がん検査3,000円(上限は5,000円)ですので、補助額は9,000円となります。
- Q5 28歳で子宮がん検査(5,000円)と胃がん検査(3,000円)を自己負担で受診しました。補助額はいくらになりますか？
A5 子宮がん検査の補助額は5,000円となります。胃がん検査は40歳以上が対象ですので、補助対象外となります。
- Q6 32歳で乳がん検査と子宮がん検査を自己負担で受診しましたが、セット料金で18,000円でした。補助額の計算はどうなりますか？
A6 申請の際に各がん検査の個別金額がわかる資料(料金表など)を添付してください。この場合、乳がん検査と子宮がん検査の料金を分けて計算します。
(乳がん検査が6,000円だった場合)
乳がん検査6,000円(全額補助)＋子宮がん検査5,000円(上限)ですので、補助額は11,000円となります。
- Q7 健診とオプション検査を別の日に受診しましたが、補助の対象となりますか？
A7 補助金支給は、**原則同日受診の場合のみ**とさせていただいておりますので、対象になりません。**ただし、健診機関側の都合により同日受診ができない場合はお手数ですが健保組合担当者までご相談ください。健診機関に確認の上、別途対応いたします。**
- Q8 検査の方法により、補助対象になるかならないかはあるのでしょうか？
A8 原則、検査の目的(〇〇がん等)が合致していれば、検査方法は問いません。

検査の項目	一般的に普及している方法
乳がん検査	腫瘍マーカー
	マンモグラフィ
	乳房超音波検査
子宮がん検査	腫瘍マーカー
	子宮頸がん検査(細胞診) 自己採取・医師採取
	HPV(ヒトパピローマウイルス)検査
	子宮卵巣(経膈)超音波検査
胃がん検査	胃部エックス線検査(バリウム)
	胃内視鏡検査(胃カメラ)
肺がん検査	喀痰細胞診
	腫瘍マーカー
	エックス線検査
	CT

※検査項目表に無い検査方法については申請前に健保組合までお問合せください。

問い合わせ先 日本年金機構健康保険組合 保健事業課 電話 03-5216-3222